



市議会ホームページ



市議会公式Facebook



<http://www.city.oyabe.toyama.jp/shiseijyouhou/shigikai/index.html>



<https://www.facebook.com/oyabe.gikai/>

議会報告会を開催しました

11月26日に総合会館、正得公民館、水島公民館の3会場で議会報告会を開催し、計115名ご参加いただきました。議会報告会では、9月定例会の概要報告と参加された方々と「人口減少社会の対策」と「災害対策」についての意見交換を行いました。いただいたご意見や議会の対応については2ページをご覧ください。



写真：(左上)総合会館 (右上)水島公民館
(左下・右下)正得公民館



議会報告会	2	次回議会日程	12
補正予算の概要	3	市外からの行政視察	12
審議経過・特別委員会の廃止	3	事務事業評価	13
委員会報告	3~4	閉会中委員会開催状況	13
審議議案・議員別賛否状況等	4~5	会務報告	14
代表・一般質問	6~12	編集後記	14

議会報告会後の状況報告

～皆さんのご意見を受けて議会が動いています！～

議会報告会でいただいたご意見をもとに各議員が12月定例会で行った質疑の一部を紹介します。

【いただいたご意見】

防災無線が聞き取りにくい
(正得公民館ほか)

雨や風が強いときには防災無線が聞き取れない。防災無線がどこまで機能するのか疑問である。



問 防災行政無線の改善を要望する声をよく聞く。まちなかでは反響して聞きづらい、中山間地では音量が小さい。災害が発生してから避難体制を考えても遅い。災害が来ないうちに、最善の避難体制づくりと、災害に対する市民の意識を向上に取り組んでほしい。

答 戸別受信機を設置するとともに、防災行政無線で放送された内容を電話で確認できるサービスを行っている。市民の避難体制については、様々な情報伝達手段を用いて早めの情報発信を行うこととしているが、災害による被害を軽減するためには、自らの身を守る「自助」、自主防災組織や地域住民などによる「共助」が必要である。市民の皆様には、日頃から災害に対する意識の向上と備えを行っていただきたい。

【いただいたご意見】

市営バス運行について
(水島公民館)

市営バスは学生には利用しづらい。また、加越能バスと同じ路線を走れないのはおかしい。もっとバスを充実させないと高齢者も行きたいところに行けない。



問 近隣の砺波市、南砺市においても各市の市営バスが運行しているが、小矢部市と近隣市の相互にバスを乗り入れ、あわせて、通学時間帯に合わせた時刻表の改正や路線の新設により、高校通学の際の利便性を向上させることはできないか。

答 3市間の市営バスの相互乗り入れについては課題もあるが、市民の利便性の向上や交流人口の拡大の観点からも、先進自治体の事例等を参考としながら調査研究を進めていきたい。また、時刻表の改正や路線の新設については、乗車人数やバス運転手の確保などの面で難しい状況にはあるが、引き続き民間バス会社に要望するとともに、市営バスについても次回のダイヤ改正の中で検討したいと考えている。

【いただいたご意見】

学校環境について
(総合会館)

石動中学校のトイレが汚く、臭いもすごい。また、机や椅子も傷んでいてトゲが刺さる。女子のタイツにも穴が空く。



問 先日、議会報告会を開催し、意見交換の時間を設けさせていただいた。「学校のトイレが汚い」「生徒の椅子が古くささくれができている」など、教育環境が良くないというご意見をいただいた。

答 学校の椅子のささくれなどについては、早速、教育委員会のほうに指示をし、なるべく年内には修繕をしようという思いでいる。すぐに対応できるものは直ちに对処し、予算措置が必要なものはその是非を検討していきたい。



上記のほかにも、当日の意見交換会やアンケートにおいて数多くのご意見をいただきました。いただいた貴重なご意見は積極的に議会活動に取り入れていきたいと考えています。今後とも、皆様方のご理解とご支援をよろしくお願いいたします。

※当日の資料や意見交換会の要旨録、アンケートの集計結果は小矢部市議会のホームページに掲載しています。



一般会計補正予算・条例制定改正・決算認定など

25議案を議決しました

12月6日から19日までの14日間を会期として12月定例会を開会しました。12月定例会では、市長から令和元年度小矢部市一般会計補正予算、条例制定、条例改正、工事請負契約の変更など議案15件、議員から議員提出議案1件が提案され、それぞれ原案のとおり可決しました。

また、初日には9月定例会で継続審査となっていた平成30年度小矢部市水道事業会計剰余金の処分及び平成30年度小矢部市一般会計歳入歳出決算など議案9件について、それぞれ原案のとおり可決・認定しました。

その他、議員派遣を可決しました。

◎ 12月補正予算の概要

議案第52号 令和元年度小矢部市一般会計補正予算（第3号）
 補正額 1億2,672.7万円 累計予算額 169億5,526.7万円

《主な事業》

- ・ 情報管理費 770 万円
 マイナンバー対応に伴うシステム改修等を行うもの
- ・ 企業立地対策費 1,697.1 万円
 小矢部市商工業振興条例による助成を日本メジフィジックス（株）に対して行うもの
- ・ 定住促進対策事業費 2,430 万円
 定住促進助成金制度の申請件数の増加に伴うもの
- ・ 生活保護扶助費 2,159.4 万円
- ・ 児童手当給付費 400 万円
- ・ 児童扶養手当給付費 180 万円
 扶助費の増加によるもの

議案第53号 令和元年度小矢部市国民健康保険事業特別会計補正予算（第2号）
 補正額 1,213.3万円 累計予算額 29億9,112.3万円

《主な内容》

決算の確定に伴う償還金等の増額

※補正予算の詳細は、市ホームページの財政課 予算情報のページをご覧ください。

12月定例会の審議経過

（会期14日間）

- 6日 本会議（提案理由説明他）
 全員協議会
- 9日 議案調査日
- 10日 議案調査日
- 11日 議案調査日
- 12日 議会運営委員会
 本会議（代表・一般質問）
- 13日 本会議（一般質問）
- 16日 人口対策特別委員会
 民生文教常任委員会
- 17日 公共施設再編特別委員会
 総務産業建設常任委員会
- 18日 議案調査日
- 19日 議会運営委員会
 委員長会議
 全員協議会
 本会議（質疑・討論表決他）

特別委員会の廃止

平成30年度小矢部市水道事業会計剰余金の処分についてなど9議案の審査が終了したため、決算特別委員会を廃止しました。

委員会報告

定例会の会期中に開催された委員会審査の過程において、市当局に対し、次の意見がありました。

決算特別委員会

第一に、今回当委員会に示された財政健全化指標「将来負担比率」「実質公債費率」は、全国的に見ても高い水準となっているが、現在進めている大型公共事業に依り、今後さらに高い数値を示すことが予想される。

来年度以降の予算編成においては、財政の健全化を目指し、危機感を持って取り組むこと。

第二に、市の業務や学校の授業に多くのコンピュータ機器やシステムが導入されているが、その購入費や委託料等は年々増大する傾向にある。事業内容及び費用対効果を十分精査し効果的かつ効果的な予算執行に努めること。

第三に、空き家は、今後さらに増えていくことが予測されるが、空き家の発生を抑制する取組みと空き家バンクの登録を増やし、積極的な活用に向けた施策を推進すること。

また、定住人口の増加を図るため、市内において住宅を取得し、居住している方に対して助成金を交付しているが、今後も効果的な制度の検討を進めること。

総務産業建設常任委員会

一点目は、総合情報システムについて、今後、富山県の自治体クラウドシステムへの移行を行うこととしているが、過去の情報漏洩事案なども参考に、情報セキュリティ対策を徹底させ、移行に向けた協議を慎重に進めていくこと。

二点目は、今年度、千年に一度の豪雨を想定した洪水ハザードマップを市内全世帯に配布されたところであるが、次の段階として、この想定に基づいた住民の避難行動を考慮し、民間事業所等と積極的に協定締結に向けた協議を行い、住民の避難場所や必要な物資等の確保に努めること。

三点目は、小矢部市津沢あんどんふれあい会館について、市内外の多くの人に利用してもらい、地域の活性化に資する施設とするために、しっかりとした管理体制となるよう検討を進めること。

民生文教常任委員会

一点目は、インフルエンザの予防について、市内の小学校でのインフルエンザの流行による学級閉鎖に関する報告があったが、予防接種費用助成制度を学校を通じて保護者に積極的に周知

を図り、子ども達の健康保持に努めること。

二点目は、大谷こども園及び蟹谷こども園について、開園後も園児が多くの地域行事に参加できるように、地域との協議を重ねて入念に調整を行うこと。また、グラウンドの除草をはじめとした施設の維持管理においても、地域との円滑な連携を図り、子ども達の成長を地域全体で見守る体制を整えること。

三点目は、新図書館について、図書自動貸出機や読書通帳機などが新たに導入されることから、図書館コンシェルジュ等を配置し、効果的な活用方法を周知すること。また、駐車場の利便性の向上を検討し、利用者の増加を目指すこと。

令和元年度 議長交際費支出状況

平成31年4月～令和元年12月（単位：円）

区分	件数	金額
1 慶弔・見舞費	23	405,010
① 御祝・寸志	9	96,440
② 激励金	7	176,000
③ 見舞・香典	7	132,570
2 協賛費	17	73,946
3 会費・懇談会費	23	158,682
4 その他	28	337,832
合計	91	975,470
令和元年度予算額		1,300,000
執行率		75.04%

※小矢部市議会のホームページからご覧いただけます。

12月定例会で審議された議案等・議員別賛否状況

(賛否) ○：賛成 ×：反対

区分 (主な内容)	議決結果	林	竹	出	谷	山	加	義	吉	藤	白	福	中	石	嶋	沼	砂	
		登	松	合	口	室	藤	浦	田	本	井	島	田	田	田	田	田	田
その他	議案第50号 平成30年度小矢部市水道事業会計剰余金の処分について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
決算認定	認定第1号 平成30年度小矢部市一般会計歳入歳出決算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
	認定第2号 平成30年度小矢部市公共用地先行取得事業特別会計歳入歳出決算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
	認定第3号 平成30年度小矢部市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
	認定第4号 平成30年度小矢部市後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
	認定第5号 平成30年度小矢部市下水道事業特別会計歳入歳出決算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	認定第6号 平成30年度小矢部市農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	認定第7号 平成30年度小矢部市東部産業団地事業特別会計歳入歳出決算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	認定第8号 平成30年度小矢部市水道事業会計決算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
補正予算	議案第52号 令和元年度小矢部市一般会計補正予算(第3号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
	議案第53号 令和元年度小矢部市国民健康保険事業特別会計補正予算(第2号) (補正予算の概要は3ページを参照ください)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

議長は表決に加わりません

区 分 (主要内容)		議決結果	林	竹	出	谷	山	加	義	吉	藤	白	福	中	石	嶋	沼	砂	
			登	豊	和	巧	秀	幸	英	康	雅	中	正	正	樹	弘	幸	信	喜
条例の制定	議案第54号	小矢部市会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の制定について ・地方公務員法及び地方自治法の一部を改正する法律の施行に伴い、同法により創設された会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関し、必要な事項を定めるもの。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第55号	小矢部市一般職の任期付職員の採用等に関する条例の制定について ・地方公務員法及び地方自治法の一部を改正する法律の施行に伴い、臨時・非常勤職員全体の任用根拠の明確化を図り、必要な事項を定めるもの。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第56号	地方公務員法及び地方自治法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例の制定について ・地方公務員法及び地方自治法の一部を改正する法律の施行に伴い、関連する条例について所要の改正を行うもの。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第57号	小矢部市津沢あんどんふれあい会館条例の制定について ・小矢部市津沢あんどんふれあい会館の設置に伴い、必要な事項を定めるもの。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
条例の改正	議案第58号	小矢部市議会議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例及び市長等に対する給料等の支給に関する条例の一部改正について ・令和元年度人事院勧告に基づく特別職の職員の給与に関する法律の一部改正に準ずるもの。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第59号	小矢部市職員の給与に関する条例の一部改正について ・令和元年度人事院勧告に基づく国家公務員の一般職の給与に関する法律の一部改正に準ずるもの。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第60号	小矢部市水道事業の設置等に関する条例の一部改正について ・地方公営企業法の規定を令和2年4月1日から下水道事業に適用することに伴い、関係条例の整備を行うもの。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第61号	小矢部市デイサービスセンター条例の一部改正について ・小矢部市デイサービスセンターの管理を委託から指定管理者制度による管理へ移行するため、所要の改正を行うもの。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第62号	小矢部市災害弔慰金の支給等に関する条例の一部改正について ・災害弔慰金の支給等に関する法律及び災害弔慰金の支給等に関する法律施行令の一部改正に伴い、所要の改正を行うもの。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第63号	小矢部市立図書館設置条例の一部改正について ・小矢部市民図書館の移転及び新図書館へのおとぎの館図書室の機能集約に伴い、所要の改正を行うもの。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
	議案第64号	小矢部市立岩尾滝くつろぎ交流館の指定管理者の指定について ・指定管理者：特定非営利活動法人山の店 ・指定期間：令和2年4月1日から令和5年3月31日まで	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
その他	議案第65号	工事請負契約の変更について ・石動駅周辺整備二期（新図書館整備）工事について、書架の増設や防犯対策の強化等を行うために契約の変更を行うもの。 変更による増額分：8,804,400円	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	議案第66号	工事請負契約の変更について ・（仮称）大谷統合こども園機械設備工事について、下水道管の布設工事を行う際に湧き水対策が必要となったために契約の変更を行うもの。 変更による増額分：9,799,900円	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議員提出議案第2号	防災・減災、国土強靱化対策の充実及び延長を求める意見書 (内容は小矢部市議会ホームページを参照ください)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	

議長は表決に加わりません



会派「誠流」
加藤 幸雄 議員

質問 令和2年度の予算について一般財源が約4億円不足のことであるがその要因と対策について問う。

市長 来年度予算についてはサマーレビューの結果、歳入で約7千万円の減収、歳出で約3億3千万円の増加となり合計約4億円の不足が生じる。対策として経常的経費5%削減、市単独補助金10%削減、ふるさと納税の拡大や企業版ふるさと納税の活用などを図る。

質問 財政指標の悪化の要因及び対策について、またそのガイドラインについて所見を問う。

市長 財政健全化判断比率のうち実質公債費比率と将来負担比率については、その変動要素は市債の償還額や残高の大きさである。現在進めている大型事業は子育て世代を初めとする市民の生活の質の向上に資する将来の小矢部市に大きく貢献できる社会資本であり、一時的には財政運営が窮屈になるが事業を推進することが有効と判断している。実質公債費比率は石動駅周

辺整備事業の元金償還の開始により令和4年度には17%を超え、その後、新図書館、こども園などの市債の元金償還により令和6年度末にピークを迎えるが18%は超えず、以降は低下する。将来負担比率については統合こども園、新図書館、小矢部市民交流プラザなどの市債借り入れが今年度でほぼ終了するため、今年度末にはピークを迎え、一時的には20%を超えるが以降は低下していく。ガイドラインとして、実質公債費比率は18%、将来負担比率は令和元年度の数値を超えないことを基準として財政運営を行う考えである。

質問 公共施設再編について20%削減の根拠を問う。

市長 今後30年間、市が保有する公共施設の更新費用は約863億円に達する。20%削減により、予防保全と運営コスト削減により440億円の縮減効果を創出できる。

質問 小中学校統廃合審議会の答申案について、再編時期や人口推計についての所見を問う。

市長 12月10日に市に対して答申が提出され、小学校では東部を石動へ統合及び蟹谷と津沢の統合、中学校では蟹谷と津沢の統合が提言された。本市としては今後再編の時期などを含めた（仮称）小矢部市小中学校再編推進計画を策定する予定である。また、人口推計に予測を超える事態が生じる場合は改めて検討の場を設ける。

質問 公共施設再編計画の中で廃止とされた施設についての活用策や売却について、また施設管理の運営や維持保全についてその見解を問う。

市長 廃止後の公共施設の取り扱いについては、基本的には民間への売却などの利活用を推進する。なお、庁内組織の公有財産検討委員会において施設の売却等に向けて定期的に協議を重ねている。次に施設管理の運営及び維持保全などの業務については行政マネジメント課が総括的に管理し、個別施設計画については各所管課が公共施設長寿化計画として現在策定を進め

ている。
質問 新施設の魅力と賑わい創出及び環境整備についての所見を問う。

市長 新図書館は、幅広い人々が気軽に立ち寄り、居心地よく学べる図書館であり、駅周辺の賑わい創出の一翼を担う施設である。絵本の読み聞かせ会、ふるさとコーナーなど魅力ある企画を予定している。新こども園では道路などの安全対策や防犯カメラの設置など周辺環境整備を実施している。津沢あんどんふれあい会館が4月下旬にオープンし、新たなまちなかの賑わいが創出される予定である。



石動駅併設の新図書館
(3月26日供用開始予定)

- ◎令和2年度の予算方針と財政健全化について
- ◎公共施設再編計画について
- ◎小矢部の魅力と賑わいづくりについて



会派「市民報徳会」
林登議員

- ◎財政状況並びに来年度予算編成方針について
- ◎市長のタウンミーティング実施の提案
- ◎東京オリンピック・パラリンピック開催への対応について
- ◎地域と連携した高等教育改革について

質問 財政状況についてどのように認識をし、どのように来年度予算を編成していくのか。

市長 一般財源不足額を約4億円と見込んでいます。この一般財源不足見込額に対しては、引き続き最少の経費で最大の効果を上げるとの原点に立ち、歳出面では安易に前例を踏襲することなく、事業目的の達成に向け、より効果の高い対象や手法の選択など事業内容全般にわたり厳しく再検証を行うこと、また、歳入面では、幅広い視野で、国・県支出金のみならず、有効な財源の発掘に知恵を絞り、財源を確保し、市債の借り入れや財政調整基金の繰り入れに頼らない予算編成を目指している。

具体的には、経常的経費については、令和元年度当初予算と比べ一般財源額を5%削減すること、また、政策的経費については、サマーレビューで示した額を上限として見積もること、さらには、市単独補助金についても総額で10%以上を削減することなどを予算見積もり基

準として定めるとともに、個別事項としては、今後取り組みが増大する公共施設の長寿命化に際して、市債を財源とする場合は、長寿命化計画をしっかりと策定し、交付税措置のある有利な市債を必ず活用すること、また、財源の確保に向けては、ふるさと納税の拡大や企業版ふるさと納税の活用に取り組むことなどを令和2年度予算編成方針の中に示し、現在、予算編成作業に取り組んでいるところである。

質問 東京オリンピック・パラリンピックの開催をどのように生かしていくのか。

市長 東京オリンピックの聖火リレーは、富山県内の出発地点はクロスランドおやべとなつていく。この機会を小矢部市をアピールする大きなチャンスと捉え、本市の実行委員会を設置し、市民の皆様や各団体の協力を得ながら、聖火リレーの出発式に生かしたい。

ホッケー競技では、地元小矢部市から複数の日本代表が選出される可能性も非常に高くなっている。県・市ホッケー協会等と協力しながら、小矢部市全体がリアルタイムで一体感を持ち応援できるように、また地元からの応援が選手の力になるように、検討を進め、大きく盛り上げていきたい。

さらなる来館者の増加、地域の繊維産業の振興に寄与する施策、ホッケー競技はもちろんのこと、スポーツ全般の振興に寄与する施策を来年度行っていくことが必要だと考える。当局は、この東京オリンピック・パラリンピ

かりのある資料などの収集に取り組み、企画展示の実施を初め、市内外の来館者に大谷米太郎・竹次郎兄弟を輩出した本市の情報発信を行うとともに、市民の郷土愛の醸成も図りたい。

質問 地域と連携した高等教育改革として、市内の高等学校と連携をし、産業界等との協働によるコンソーシアムを構築し、地域課題の解決等の探求的な学びを実現する取り組みを進めていくか。

市長 地域とのかかわりを深めた生徒は、大学進学等で一度地元を離れても、Uターンやふるさととのかかわりなどを継続する可能性が高いので、地域との連携を図っていく必要がある。

令和2年度には、本市の名誉市民である大谷米太郎氏、大谷竹次郎氏、大谷勇氏など関係者の功績等を広く紹介する写真展等の開催を検討している。市民や関連企業の協力を得ながら、市内に埋もれている大谷家にゆ

TOKYO OLYMPICS



2020



みんなでオリンピックを盛り上げましょう。

◎クロスランドタワーの今後の行方について
◎空き家の現状と利活用について



白井 中 議員

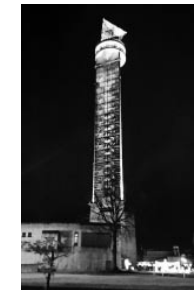
質問 12月28日から1月3日までの期間は、クロスランドタワーのライティングを計画しないということだが、正月に帰省される方のために、ライティングを実施してはどうか。

教育委員会事務局長 昨年度はタワーライティングを取りやめたことから、タワーの光の彩りがなく寂しいとの声を多数いただいた。これを受け、今年度は大みそかの午後10時から元旦午前2時まで、タワーライティングとおやべイルミの追加実施を決定したところである。

質問 クロスランドタワー存続のために、企業版ふるさと納税を活用して寄付を募ることはできないか。

企画政策部長 企業版ふるさと納税の認定を得ることは可能だと考えられるが、タワーの耐用年数が残っているため、まずは維持管理を行うっていくことが肝要であると考えており、今回の提案は有効な手法の一つとして検討していきたい。

質問 空き家対策を進めて



ライティングされたクロスランドタワー

いく上で、解体費用が高額なこと、更地になると土地の固定資産税が上がることで問題となることが多いが、改善できないか。

産業建設部長 空き家を含む土地建物は個人財産であり、建物の所有者が自ら管理することが原則であり、個人資産の管理に対する支出については慎重に検討すべきだと考えている。

総務部長 住宅が取り壊されると特例措置から外れるため、土地の分が上がるが、家屋の分で下がるため、必ずしも固定資産税額は上がらない。ただし、危険な空き家と指定され、放置し続けた場合、更地でなくとも特例措置から外れ、土地の固定資産税が上がることになる。固定資産税の取り扱いについては、他市の状況を注視しながら対応していきたい。

◎児童虐待防止対策について
◎ウォーキングに対しての取り組みについて
◎公共施設利用料金について



竹松 豊一 議員

質問 昨今の虐待相談件数の急増、目黒区、野田市の虐待事件を踏まえ、さまざまな人権教育、子供を暴力から守る取り組みとしてCAPプログラム*があるが、虐待防止、人権教育についての研修、ワークショップ等の状況、今後の取り組みについて当局の見解を問う。

教育長 「いのちの教育」を核とした豊かな心の育成に取り組んでいるところであり、保護者についても、親学びを実施している。今後とも、各団体や地域の方々の力も借りながら、CAPプログラムの精神にあるように、子供たちの心と体を守る取り組みを続けていきたいと考えている。

質問 既存のウォーキングマップも含め、七福神めぐりも加えた今後のマップ作成について、当局の見解を問う。

教育委員会事務局長 七福神コースなど小矢部らしいテーマや、各地区内散策コースなど、身近なコースも含めた新たなウォーキングコース

の設定、マップの更新・刷新について、関係各課、各団体と協議をしていきたいと考えている。

質問 公共施設利用料金等に関して、冷暖房費、備品の扱い、また予約システムを含めて公共施設、料金原価について当局の見解を問う。

総務部長 利用時間、冷暖房、備品、減免規定、予約システムの運用など各種の取り扱いについては、それぞれ公共施設の設置目的や利用目的に沿いながら、個々の施設の事情に合わせて規定してきたところである。料金原価の考え方については、次回の見直しを令和3年度に行う予定であり、その中で検討していきたいと考えている。



寿永荘前公園の福祿寿

*用語解説

「CAPプログラム」……子供たちが、いじめ、痴漢、誘拐、虐待、性暴力といったさまざまな暴力から自分を守るための人権教育プログラム。

◎減災につながる防災対策と対応について
◎人口減少と定住支援の対策について



出合 和仁 議員

質問 災害情報の伝達が、市民への最初で最も大切な災害対策手段であると思うが、その情報伝達手段について問う。

総務部長 災害情報などの伝達については、停電や機械システム等に予期せぬトラブル等の発生も想定し、伝達手段の多重化、多様化が図られている。伝達手段には、必要情報が自動定期配信されるプッシュ型と、

情報を必要とする側が情報を取りに行くタイプのプル型に分かれ、プッシュ型の伝達手段では、防災行政無線、戸別受信機、強制的に配信する緊急速報メールやエリアメールなどがある。プル型ではケーブルテレビなどのデータ放送やフエイスブックなどSNSがある。防災行政無線が聞きにくい場合の対応として、本年度から自宅電話や携帯電話で確認できるサービスを開始している。

質問 洪水ハザードマップを新しく作成されたが、その内容と市民への周知、活

用方法について問う。

総務部長 ハザードマップは、平成27年の水防法改正に伴い、千年に1回発生するとされる想定し得る最大規模の降雨により河川が氾濫した場合に、浸水が想定される区域を指定し作成した。市民への周知については、広報おやべや市ホームページへの掲載、地区防災訓練や出前講座などに職員を派遣し広く周知を図っている。ハザードマップを活用し、自宅近くの避難所や避難経路の確認、災害が起きる前の行動を時系列で整理するタイムライン、防災行動計画を作っていた

きたいと考えている。タイムラインの作成や避難経路等の作成については、各地区自主防災組織、消防署、消防団など関係機関と連携し積極的に取り組んでいきたい。



災害から身を守るためには日頃からの備えが大切です。



谷口 巧 議員

質問 全国各地で大規模な自然災害が発生しているが、小矢部市ではどのような災害を想定しているのか。

総務部長 地域防災計画に基づき、地震災害、風水害、雪害、原子力災害、その他事故の災害を想定している。

質問 想定される災害についてどのような対策を行っているのか。

総務部長 主な対策として、防災行政無線や防災メールによる広報の整備、食料、水、資機材などの備蓄品の整備に加え、自治会、自主防災組織、市内企業等との防災訓練を行っている。

質問 本年の台風19号接近時に、警戒レベル3が発令され、避難所が開設されたが、昨年との違いを問う。

総務部長 昨年の自主避難所開設の際の意見や避難情報発令の対象地区や避難所までの距離などを勘案し、学校施設を除く公共施設を避難場所として選定した。

質問 11月17日に富山県原子力防災訓練が実施され、約70名の氷見市民を東部公



富山県原子力防災訓練の様子 (東部公民館)

民館に受け入れた。本市としても原子力災害を最小限にするために研究・検討し続けなければならない。当局の考えを問う。

総務部長 本市においても、原子力災害対策指針によるUPZ圏外の防護措置の考え方を踏まえ、防災関係機関等との情報を収集、連絡体制の整備を行い、必要な対策を講ずる考えである。

質問 電子母子手帳の導入は災害発生時にも役立つと思われるが、電子母子手帳の導入を検討して頂きたい。

民生部長 本市においては、来年10月に子育て世代包括支援センターの開設を予定していることから、これを機に、電子母子手帳の活用について聞き取り調査を実施し調査、研究を考えている。

- ◎介護予防交付金と健康寿命の延伸について
- ◎石動駅駐車場と安全対策について
- ◎人口減少対策、定住支援策について



中田 正樹 議員

質問 6月に厚生労働省が策定した健康寿命延伸プランについて説明を求めます。

民生部長 健康無関心層も含めた予防・健康づくりの推進と地域保険者間の格差の解消に努め、介護予防・フレイル*対策、認知症予防などに取り組み、健康寿命の延伸を図るものである。

質問 フレイル予防、フレイル状態の早期発見と対応が重要ではないか。

民生部長 フレイル予防は身体的、精神的、社会的な面から総合的に働きかけていくことが重要である。早期に対策に取り組むことで健康な状態を維持したり回復したりすることが可能であり、これらが介護予防、健康寿命の延伸、生活の質の向上につながると考える。

質問 新図書館開館後の駐車スペースについては、障害者、妊婦等への配慮は十分にされるのか。

産業建設部長 駅舎正面にて乗降できるスペースを設置し、あわせて、駐車場の最も駅舎や図書館に近い場所に

優先区画を5台分設置し、安心して利用していただけるよう整備する。

質問 石動駅南エリア、クロスランドまでの道筋が暗く、防犯上からも街路灯、防犯灯の設置が必要である。

産業建設部長 線路沿いには防犯灯がない箇所がある。地元自治会からも提案が来ており、協議をしながら、設置を検討したい。クロスランドまでの道筋についても地元自治会と協議しながら設置を検討したい。

質問 定住支援策については、金銭的インセンティブよりも、小矢部の魅力を高めることが重要ではないか。

企画政策部長 金銭的なインセンティブだけではなく、中心市街地の活性化や商工業の振興、にぎわいの創出が重要である。魅力ある小矢部市をつくり上げていきたい。



石動駅南の防犯灯未設置箇所

- ◎小矢部市活性化について
- ◎道路交通ネットワークについて
- ◎特殊詐欺被害について



藤本 雅明 議員

質問 小矢部市が今年度、策定するシティプロモーション戦略について問う。

企画政策部長 本市の目指すシティプロモーション戦略とは、まず一つ目は、市民の皆さん自身に本市のさまざまな地域資源の魅力や価値に気づいていただき、愛着や誇りを醸成し、市民自身の言葉で本市の魅力を発信していただくこと。二つ目は、市外に住む人や本市の出身者が、本市の存在や魅力を知る、または魅力を再発見し、ファンになって、行きたい人、住みたい人になり、最終的には本市を居住地として選んでいただくことである。

質問 シティプロモーションの一つに、大河ドラマ誘致がある。大河ドラマ誘致に向けた活動について問う。

市長 大河ドラマの誘致は、本市のシティプロモーションの取り組みとして非常に大きな効果がある。平成23年度から取り組んでいる署名活動については、本年12月現在、約26万5千人の署

名が集まっている。大河ドラマ誘致は今まさに正念場であると認識し、大願成就に向け、さらに取り組みを強化していきたい。

質問 石動駅南北自由通路ができ、1年になる。パーク・アンド・ライドの実績、周知について問う。

産業建設部長 実績は、サービスを開始した平成30年12月22日から本年11月末まで間に、対象となる日が118日、利用者合計3千852台、1日当たり平均32・6台の利用実績となっている。南北自由通路供用開始以降、駅利用者が増え、南北に分散し混雑解消につながった。引き続き、砺波市、南砺市からの利用者増を確保するために様々な形でPRしていきたい。



南北自由通路ができてから駅前広場の混雑が緩和されました。

*用語解説
「フレイル」……加齢により心身が衰えた状態。健康な状態から要介護状態になるまでの中間的な段階。



嶋田 幸恵 議員

- ◎持続可能な防火防災力向上の取組みについて
- ◎観光戦略について
- ◎介護予防について

質問 指定避難所にシールを貼るなどして、避難所であることをわかりやすく表示できないか。

総務部長 台風が発生するシーズン前などの適切な時期に広報紙などで周知するとともに、よりわかりやすい表示方法等について検討していきたい。

質問 高齢化率の高い地区や過疎化が進んでいる地区など、色々な地区があるが、各地区の防災士の配置は均等で適切なのか。

総務部長 近年、多発している大規模自然災害の状況を踏まえると、防災士を増やし、高齢化率の高い地区や過疎化が進んでいる地区への配慮も必要だと考えている。

質問 各地区の自主防災組織における防災士の位置付けを明確にして、防災士が地区で活躍しやすい体制を整えるべきではないか。

総務部長 防災士の位置付けや連携体制は各地区で異なるが、その位置付けが明確になるようにして、自主



市役所4階にある小矢部市観光協会

防災組織と防災士が連携できるように促していきたい。

質問 救急救命講習受講者数県内トップを目指した取組を進めていただきたい。

総務部長 消防団員だけでなく、多くの市民の方に応急手当普及員*の資格を取得していただければ、また、救急救命講習の普及を消防署と協力しながら進めていきたい。

質問 観光協会を市役所に置くことのメリットは何か。

産業建設部長 観光分野だけでなく、定住支援、特産品のPRなど、さまざまな分野で連携をしてプロモーションを行っていることから、市庁舎内にあることにより、関係課と密に連携を図ることが可能となり、効果的な情報発信ができる。

一般質問

- ◎市営バスについて
- ◎交通安全について
- ◎次年度以降の農業の取組みについて



石田 義弘 議員

質問 交通の利便を確保し、市営バスの本数や路線について不公平のないように配慮し、交通弱者と言われる高齢者や児童、学生のためにも、早急に対応策を示していただきたい。

民生部長 市営バスの現行の運行本数ダイヤと路線については、アンケートや、市自治会連合会、市長寿会連合会等から寄せられたご意見等を踏まえ、石動駅南口の供用に合わせて平成30年11月に改正したところである。利用者は増加傾向にあるが、公共交通の空白地帯の解消には至っていないため、現在、地域公共交通網形成計画の策定に向けて、公共交通全般の今後のあり方について、地域公共交通活性化協議会において審議されているところであり、その結果を踏まえて適切に対応していきたい。

質問 歩行者の安全を優先し、事故のない市にしたいためにも、「歩行者がいた場合の横断歩道での一時停止」と「雪道での歩行者



横断歩道を渡ろうとしている歩行者がいる場合、自動車は一時停止が義務づけられています。

がいた場合の減速の奨励」の2点について積極的に推進するために「安全宣言」を行うことはできないか。

また、本市は交通安全都市宣言を行っているが、50年以上経過しているが、今の時代に相応した内容に変更し、市民の交通安全に対する意識を高めるためにも見直しを行うてはどうか。

市長 「安全宣言」の実施については、来年度以降の交通安全市民大会における大会宣言に向けて、しっかりと検討していきたい。

また、時代に相応した交通安全都市宣言の内容の変更については、今日の交通事情や技術革新などを十分に勘案し、交通安全対策協議会等の関係機関と協議を行い、見直しをしていきたいと考えている。

*用語解説
「応急手当普及員」…… 消防機関による応急処置技能の普及を支援し救命講習を教授する人員またはその資格。



砂田 喜昭 議員

- ◎教員の働き方改革。実態と、変形労働時間制への対応
- ◎小矢部市小中学校統廃合審議会答申案について
- ◎下水道事業の公営企業会計移行に関して
- ◎豪雨災害対策について
- ◎自治体情報のクラウド化による懸念について
- ◎市営住宅の連帯保証人の問題

【質問】 中学校統廃合審議会答申の「一学年に複数学級が望ましい」「人間関係の固定化等が生じないように、クラス替えができる規模」は教育的観点から根拠があるのか。複数学級のある学校で良好な人間関係が築かれ、いじめや不登校、落ちこぼれが生じていないのか。

【教育長】 いじめや不登校など解消の取り組みはどんな場合も必要であり、「そのため複数学級が望ましい」と答申には触れていない。

【質問】 全小中学校の耐震化も完了し、普通教室にエアコンも完備し、県内でも快適な学校環境を整えてきた小矢部市にとって、学校統廃合に財源を割く余裕はない。かえって統廃合すると地方交付税が1校分約9百万円減らされる。

それよりも早く少人数学級を実現し、市独自に配置している多人数学級支援講師や図書館司書、スクールカウンセラーなど教職員の増員と常勤化に取り組むところが必要である。

【教育長】 本市ではこれまでも教育長会などで「全学年35人学級」を要望し続けており、今後も強く要望していきたい。

【質問】 下水道事業の公営企業化で、使用料等の値上げにつながるのではないかと。公営企業化を理由とする値上げを行わないこととしている。

【質問】 高齢者などが、連帯保証人を確保できず市営住宅に入居できない場合がある。国は連帯保証人を不要とする制度もつくった。市の今後の対応を伺う。

【産業建設部長】 市営住宅条例において、特別の事情があると認める者に対しては、連帯保証人の届け出を不要とするという規定を設けているので、これを適切に運用する。



市営住宅

3月定例会の日程(予定)

- 3日(火) 10時 本会議(提案理由説明) 全員協議会
- 4日(水) 議案調査日
- 5日(木) 議案調査日
- 6日(金) 議案調査日
- 9日(月) 9時 議会運営委員会 10時 本会議(代表・一般質問)
- 10日(火) 10時 本会議(一般質問)
- 11日(水) 10時 予算特別委員会
- 12日(木) 10時 予算特別委員会
- 13日(金) 10時 予算特別委員会
- 16日(月) 10時 人口対策特別委員会 14時 民生文教常任委員会
- 17日(火) 10時 公共施設再編特別委員会 14時 総務産業建設常任委員会
- 18日(水) 議案調査日
- 19日(木) 10時 議会運営委員会 委員長会議
- 13時 全員協議会
- 15時 本会議(質疑・討論・表決)

※青色の文字はケーブルテレビで生放送予定です。
 ※予算特別委員会は録画に再放送予定。
 ※本会議の録画映像はインターネットにて配信を行う予定です。
 ※市議会では、市民の皆様の傍聴をお待ちしております。
 詳細については、市議会のHPをご覧ください。



市外からの行政視察

小矢部市議会では、全国各地の議会関係者の行政視察を受け入れています。

(令和元年9月21日～令和元年12月5日まで)

年月日	視察来庁市町村議会 (委員会・会派)	人員(人)		視察内容
		議員	随員	
元. 9.30	山梨県南アルプス市議会 (会派)	4	-	・おやべ型1%まちづくり事業について
11. 6	三重県四日市市議会 (会派)	1	-	・議会BCPについて
11. 8	福岡県糸島市議会 (市民福祉常任委員会)	5	1	・子育て支援施策について
11.11	兵庫県相生市議会 (会派)	8	-	・おやべ型1%まちづくり事業について

平成31年・令和元年は全国各地から議員55人と随員8人が本市を訪れ、行政視察を実施されました。

平成30年度議会事務事業評価

11月22日の全員協議会において、市議会より市当局へ議会事務事業評価の報告書を提出しました。今後事務事業を見直す際の参考にするとともに各種施策の推進に向けて努力されるよう市当局に求めました。

総務産業建設常任委員会

(単位：千円)

事務事業名	平成30年度 決算額	委員会評価
企業立地対策事業	11,315	市内の既存企業に対して個別に企業訪問を行い、情報収集及び事業の周知に努めるとともに、とやま呉西圏域等で実施している各種事業への参加を促すなど、事業拡大等を積極的に支援することにより、市内既存企業のさらなる活性化を図ること。
空き家対策事業	258	様々な機会を捉えて事業の周知を図り、引き続きバンク登録件数及び成約件数の増加に努めること。
有害鳥獣捕獲対策事業	8,240	事業開始から年数も経ち、当初に導入した電気柵も更新時期を迎えることから、現状の対策を維持するだけでなく、有害鳥獣対策協議会の意見も取り入れながら、被害防止策の見直しを検討すること。
県道改良等負担金事業	26,036	安全・安心対策の強化に重点を置き、市内の道路網の整備をさらに促進できるように、引き続き県と連携して事業を進めること。
観光推進事業	71,855	現在、石動駅や新図書館、める・びるをはじめとした石動駅周辺の整備を行い、中心市街地の賑わいづくりを行っているところであるが、今後、さらなる活性化が望まれていることから、観光客を誘客するために、市と観光協会の業務内容や連携方法の見直しを行い、組織体制の強化に努めること。

民生文教常任委員会

(単位：千円)

事務事業名	平成30年度 決算額	委員会評価
地域自殺対策緊急強化事業	1,778	メンタルヘルスチェックをはじめとした取り組みに事業効果が見られる。相談を希望される方の心の支えとなるゲートキーパーの養成を強化するとともに、今後も引き続き本市の現状に応じた対策を講じ、KPI等の指標を意識した上でしっかりと事業を推進すること。
母子保健推進事業	38,360	子育て世代の悩みやニーズにいち早く対応できるよう関係課及び関係団体との情報共有を綿密に行うなど、「横のつながり」を重視した連携を図り、事業を推進すること。また、事業成果については具体的な数値を提示すること。
病児保育事業	11,606	多額の事業費がかかることから、費用面を精査し、様々な工夫をして財政負担の軽減を目指すこと。また、病児保育事業の重要性は高いことから、継続的に事業を行い、子育て支援の充実を図ること。
英語教育推進事業	26,301	近年は小中学生が外国人と接する機会が増えてきていることから、学校生活において夏休み、冬休み、休み時間、給食時間等に様々な取り組みを行い、英語に慣れ親しむ機会を積極的に創出できるよう努めること。また、外国語指導助手の勤務日数、勤務時間については学校間での均衡がとれるよう調整し、事業を推進すること。

閉会中委員会開催状況

総務産業建設常任委員会

10月31日開催

*所管事項について、委員から意見がありました。

・「める・びる」を拠点とした中心市街地の活性化が十分ではないように感じる。にぎわいづくりの担い手を育成して、さらなる活性化に努めてほしい。

民生文教常任委員会

10月28日開催

*所管事項について、委員から意見がありました。

・新図書館では、ソフト事業の充実を図り、利用者の増加に努めてほしい。

公共施設再編特別委員会

10月28日開催

*所管事項について、委員から意見がありました。

・小さい子供が新図書館で十分に活動できるのかということも考慮に入れ、おとぎの館図書館の活用を考えてほしい。

11月18日～11月19日実施

*所管事項に関する行政視察を実施しました。

三重県志摩市

公共施設再編計画の進捗状況と課題について調査しました。

◎滋賀県米原市
公共施設再編計画の進捗状況と課題について調査しました。

人口対策特別委員会

11月7日～11月8日実施

*所管事項に関する行政視察を実施しました。

福井県鯖江市

鯖江「育職住」プロジェクトについて調査しました。

岐阜県郡上市

関係人口プラットフォーム構築事業について調査しました。

郡上・ふるさと定住機構

郡上カンパニーの取組について調査しました。

11月15日開催

*所管事項について、委員から意見がありました。

・転出抑制のためには、子供たちに小矢部市に関心を持ってもらい、ふるさと愛を育む必要がある。取組について検討してほしい。



公共施設再編特別委員会行政視察（志摩市）



人口対策特別委員会行政視察（鯖江市）

会務報告

令和元年 9月 21 日から令和元年 12月 5日 まで

年月日	件名	摘要	開催地
元. 9.30	副議長就任あいさつ回り	・ 県選出国会議員等	東京都
10. 8	議会だより編集委員会	・ 議会だよりNo.195について	第二委員会室
	県西部市議会議長会正副議長研修会	・ スポーツウエア研究開発施設他	市内
10. 9	高岡地区広域圏事務組合議会定例会	・ 令和元年度一般会計補正予算（第1号） 監査委員の選任について他	高岡市
	富山県市議会議長会正副議長研修会	・ 講演「市町村議会の現状と課題」	黒部市
10.10 .11 .15	決算特別委員会	・ 付託議案審査 議案第50号及び認定第1号から認定第8号まで	第二委員会室
10.24	議会だより編集委員会	・ 議会だよりNo.195について	第二委員会室
	全員協議会	・ 令和元年度市民満足度調査の結果について他1件報告	第一委員会室
10.28	民生文教常任委員会	・ 新小矢部市民図書館の開館に係る運営計画等について他1件報告 ・ 議会事務事業評価	第二委員会室
	公共施設再編特別委員会	・ 公共施設再編特別委員会における今後の主な報告事項について	第二委員会室
10.29 ～31	立山の塔慰霊行事	・ 「立山の塔」慰霊祭	沖縄県糸満市
10.31	総務産業建設常任委員会	・ 令和元年度除雪計画について他1件報告 ・ 議会事務事業評価	第二委員会室
11. 5	議会運営委員会	・ 議会報告会について	第二委員会室
11. 7 . 8	人口対策特別委員会行政視察	・ 鯖江“育職住”プロジェクトについて ・ 関係人口プラットフォーム構築事業について ・ 郡上カンパニーの取り組みについて	福井県鯖江市 岐阜県郡上市
11.15	人口対策特別委員会	・ 小矢部市シティプロモーション戦略プランの策定状況について	第二委員会室
11.18 .19	公共施設再編特別委員会行政視察	・ 公共施設再編計画の進捗状況と課題について	三重県志摩市 滋賀県米原市
11.22	全員協議会	・ 令和2年度採用職員の再募集について他1件報告 ・ 議会事務事業評価報告	第一委員会室
11.29	議会運営委員会	・ 12月定例会提出議案について	第二委員会室

編集後記

11月に行った議会報告会は、今回初めて石動、正得、水島地区と3会場同時に行いました。また、新たな試みとして、議会報告に加えて市民の皆さんと小矢部市の抱える課題、人口減少、災害対策について意見交換させていただきました。その結果、様々な意見を市民の皆さんにいただき大変有意義でした。今後、いただいたご意見を議会で生かしていきます。

今年3月末に小矢部市民図書館が開館。4月初めには大谷こども園、蟹谷こども園が開園。秋には小矢部市民交流プラザが開館する予定です。これらを有効活用していくのが大きな課題だと考えます。人口減少問題、防災・減災問題、小矢部市の活性化等に議会ワーカーチームになりしっかりと取り組んで参ります。

（議会だより編集委員 藤本記）
 次回の「議会だより」は、令和2年5月の予定です。